



～平成28年度第1回コア会議が開催されました～

平成28年9月29日（木）に「公園マネジメント会議 平成28年度第1回コア会議」が愛・地球博記念公園 地球市民交流センターにて開催され、12名のコア会員の出席があり、コア会議が成立しました。

事務局より8月25日から4日間開催したプール前大屋根エリアでのイベントについての活動報告があり、グループに分かれて来年度も同様の活動を続けていくためのプラン検討を行いました。また、予算状況などの変化に対して、来年度以降の秋まつり、春まつりに対して公園マネジメント会議としてどのように対応していくのか意見交換を行いました。



コア会議の様子

出席した2団体に感想を発表してもらいました！



「共有の場」の活用について

（報告・グループワーク）

- 事務局より「共有の場」活用お試し企画である、プール前大屋根エリアでのイベントの活動報告がありました。
- プール前大屋根エリアの来年度の活動プランについて、グループで意見交換を行いました。

●活動報告：8月25日から4日間、プール前大屋根エリアにて「共有の場」のお試し企画を行った。「ネイチャークラブ東海」、「いだか竹とんぼの会」、「作楽っ子」、「なごや竹和会」の4団体が出展を行い、累計868名に活動を体験してもらえた。プール営業期間の土日と、夏休み期間がプール前大屋根エリアでのイベント開催に有効であると感じた。

（グループワーク意見）

<Aグループ>

- 期間を先に決めてしまうと、「誰かがやらないと」「穴埋めしないと」といった義務的になってしまう可能性がある。
- 会員が自主的に「やりたい」「使いたい」とするためにメリットをはっきりさせる必要がある。そのためには公園マネジメント会議として明確なルールの設定も必要である。

<Cグループ>

- 期間は春休みと夏休みがよい。お試し企画が盛況だったので、繰り返しやれるとよい。
- モリコロパークには他にもいろんな場所があるので、活動を広げていけるとよい。
- 公園マネジメント会議の会員が自主的に活動できるとよい。

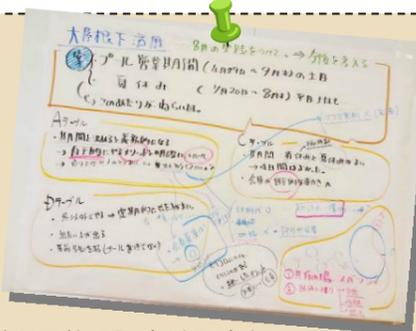
<Dグループ>

- 冬以外でやれるとよい。定期的であれば活動も伝わる。時期に合った活動内容があると思う。
- 魅力的な場所であれば自主的に参加すると思うので、みんなが出たいという場所に仕向けられるとよい。



【全体共有】

- ◆プール前大屋根エリアの活用について
 - 会員が自主的に参加したいと思えるようにしたい。
 - マネジメント会議として来年度のプランを表明した方が現場（施設管理）との調整もスムーズにいくので、時期や期間については今後も検討していく。
 - 年間通して活動できる団体があれば認識もされやすい。今日、参加していない会員さんもいるので、今後も活動参加を呼びかけていく。
- ◆公園利用のルール確認（都市整備協会より）
 - 材料費程度のお金を利用者から集めて物を作ったり、体験するのは問題ないが、営利目的の販売はできない。マネジメント会議のイベントの一環としての出店（飲食含めた物販）であれば許可できる。
 - 会員のイベントや活動に関する勧誘は問題ない。



来年度以降の秋まつり、春まつりについて

（報告・グループワーク）

- 事務局より「県がこれまでのように予算を確保できない場合の秋まつり、春まつりについて、どのように対応すべきか」についての公園マネジメント会員アンケート結果の報告がありました。
- 来年度以降に予算がなくなる可能性をふまえ、今後の開催方針についてグループで意見交換を行いました。

（グループワーク意見・質疑応答）

<Aグループ>

- 自力でやっていくしかない。これまで春まつりや秋まつりに参加していない団体も含め、会員が強制されることなく自発的に参加できる仕組みが必要である。
- 公園マネジメント会議の資金づくりのため収益活動をして持続可能な体制をつくるのが重要である。
- モリコロパーク周辺の大学や、長久手市以外の自治体やNPOとも協力できるとよい。
- モリゾーとキッコロの運営管理や権利を愛知県（公園）にもどしてもらうことも持続可能な提案だと思う。

<Cグループ>

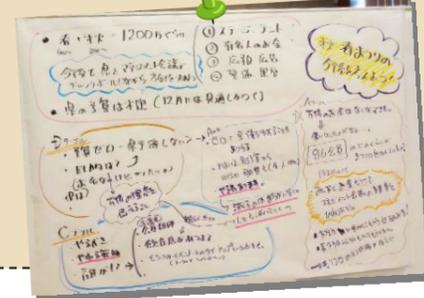
- 秋まつりや春まつりは万博を記念するイベントなので、今後もやっていくべきである。
- 予算がないということであれば、やれる範囲でやる。
- 内容や方向性が似ている民間の持ち込みイベントとタイアップという方法もある。それぞれが持っている資源（設備や人員）を共有して費用を抑え、それぞれのお客さんを共有して楽しんでもらえるとうい。

<Dグループ>

- 万博余剰金がなくなるということは、今後、県は秋まつり、春まつりの主催者ではなくなるという意味なのか。
 - 予算がなくなった場合は主催を譲る気持ちもある。しかし、イベント用の予算がなくても通常の予算はあるので、各種備品の提供や人的支援はできる。（事務局）
- 秋まつり、春まつりの目的は何だったのか？
 - 万博の理念継承を目的としているので、市民と協働して伝えていかないといけない。県としてやれることはやっていきたいが、予算が減ることは間違いないので、今から皆さんと考えていきたい。（事務局）

【全体共有】

- 今までは県が万博の余剰金で春まつりや秋まつりのイベントを主催してきたが、10年という節目でその時代を終える。次のステージでやっていくためにも、今後も可能な範囲で県には関わってもらう必要がある。
- 県の予算だけに頼らず、例えば公園マネジメント会議で協賛金集めをしてでも何か企画するなど、会員の知恵を出しあい、より良い春まつり秋まつりのあり方を次回も検討していく。



分科会活動報告

以下の分科会の活動報告がありました。

<2016 夏祭り分科会>

モリコロパーク10周年企画として、7月16日から7月18日の3日間に大芝生広場で夏祭りが開催され、「都市整備協会」、「ときを祝うメモリー」、「ナガクテエンジン」、「福祉工房あいち」の4団体が参加しました。3000人ほどの集客があり、盛況のうちに分科会活動を終了しました。

<子どもの遊び場を検討する分科会>

観覧車周辺を活性化するために、小麦迷路やコスモスのイベントなどの公園の事業と連携しながらエアータントやポールプールなどを設置して、来園者に楽しんでもらうための活動をしています。活動を継続しながら集客数を向上させていくためにも、本分科会の活動と連携したイベントとして一緒に活動していただける団体があれば協力していきたいと考えています。



お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 杉山 千代子
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 松田 浩一
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

